

アクセスマルータ

クイックスタートガイド

FITELnet-E20/E30

古河電工

安全にお使いいただくために必ずお読みください

はじめに

このたびは、アクセスルータFITELnet-E20/E30をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。本書は、アクセスルータFITELnet-E20/E30の基本的な取り扱いについて説明しています。

- ・ご使用前に、この「クイックスタートガイド」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- ・お読みになったあとも、本装置のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。

《本書中のマーク説明》

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本装置の本来の性能を発揮できなかつたり、機能停止を招く内容を示しています。
お知らせ	この表示は、本装置を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
ワンポイント	この表示は、本装置を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

ご注意

- (1) 本装置の耐用年数は6年です。また、本装置の修理可能期間は製造終了後6年間です。
- (2) 本書は内容について万全を期しておりますが、万一不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、弊社のサポートデスクにご連絡くださるようお願い致します。
- (3) 弊社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(2)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- (4) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命にかかわる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これらの用途については、設備や機器、制御システム等に本装置を使用し、本装置の故障により、生命、身体、財産の被害や、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいては、偶発故障を想定した冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
- (5) 本装置を設置するための配線工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となりまた事故のもととなりますので絶対におやめください。
- (6) このクイックスタートガイド、ハードウェア、ソフトウェアおよび外観の内容について将来予告なしに変更することがあります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本装置の廃棄方法について

本装置は成分として半田（鉛）を含みますので、特別管理産業廃棄物に該当します。廃棄する場合は、国、都道府県並びに地方自治体の法規・条例に従って処理してください。

 **警告**

万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、弊社のサポートデスクにご連絡ください。お客さまによる修理は危険ですから絶対におやめください。

万一、本装置を落としたり、ケースを破損した場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、弊社のサポートデスクにご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

万一、内部に水などが入ったり、本装置をぬらした場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、弊社のサポートデスクにご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電・火傷の原因となることがあります。

本装置を分解・改造しないでください。火災・感電・火傷の原因となることがあります。また、改造は法律で禁じられています。

本装置のケースは外さないでください。感電の原因となることがあります。指定以外の内部の点検・調整・清掃・修理は、弊社のサポートデスクにご連絡ください。

異常音がしたり、ケースが異常に熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、弊社のサポートデスクにご連絡ください。

電源コードが傷んだ（芯線の露出、断線など）状態のまま使用すると、火災・感電・火傷の原因となることがあります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、弊社のサポートデスクにご連絡ください。

 **警告**

本装置のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。液体がこぼれたり、金属類が中に入った場合、火災・感電・火傷の原因となることがあります。

ふる場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用しないでください。火災・感電・火傷の原因となることがあります。

AC100Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

電源コードに傷をつけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。電源コードが傷んだら、電源プラグをコンセントから抜き、弊社のサポートデスクにご連絡ください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

本装置を移動させる場合は、電源プラグをコンセントから抜き、電話機コードを差込口から抜いて、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。電源コードが傷つき、火災・感電・火傷の原因となることがあります。

万一、漏電した場合の感電事故防止のため、必ずアース線を取り付けてください。また、アース線をガス管に接続しないでください。爆発の原因となることがあります。

《お使いになる前に（設置環境）》

 注意	<p>直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。</p>
	<p>調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所、鉄粉や有毒ガスが発生する場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。</p>
	<p>ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本装置の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。</p>
	<p>振動・衝撃の多い場所に置かないでください。落下してけがの原因となることがあります。</p>

《お使いのとき》

 注意	<p>電源プラグをコンセント（AC100V）に差し込むときは、確実に差し込んでください。電源プラグの刃に金属などが触れると、火災・感電の原因となることがあります。</p>
	<p>電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。</p>
	<p>近くに雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから抜いてご使用を控えてください。落雷によって、火災・感電の原因となることがあります。</p>
	<p>本装置や電源コードを熱器具に近づけないでください。ケースや電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。</p>

《お使いのとき》

 **注意**

次のような使い方をすると本装置の内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

次のような使い方はしないでください。

- じゅうたんや布団の上に置く。
- テーブルクロスなどをかける。
- 本棚、タンスの中、押し入れの中など風通しの悪い場所に置く。
- さかさまに置く。

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず乾電池を抜き、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源コードには、延長コードは使わないでください。火災の原因となることがあります。

お手入れをするときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

乾電池は正しくお使いください。使い方を間違えると液もれや破裂することがあります。次の点にご注意ください。

- 保証期間内の単3アルカリ乾電池をお使いください。
(アルカリ以外の乾電池は使用しないでください。)
- 乾電池をショートさせたり、分解したりしないでください。
- 乾電池のプラス(+)、マイナス(-)の方向を確認して入れてください。
- 乾電池の液もれによる装置の故障については保証いたしかねます。
- 新しい乾電池と古い乾電池は混用しないでください。
- 使用済みの乾電池を火中に投げないでください。

乾電池を取りはずした場合は、小さなお子様が乾電池をなめたり、あやまって飲むことがないようにしてください。乾電池は幼児の手の届かないところへ置いてください。

《取り扱いについて》

お願い	ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本装置の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。
	落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。

《置き場所について》

お願い	製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本装置が正常に動作しないことがあります。
	電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、ワープロ、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。 <ul style="list-style-type: none">• 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音等が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）• テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。• 放送局や無線局などが近く、雑音等が大きいときは、本装置の設置場所を移動してみてください。
	硫化水素が発生する場所（温泉地）などでは、本装置の寿命が短くなる場合があります。

目次

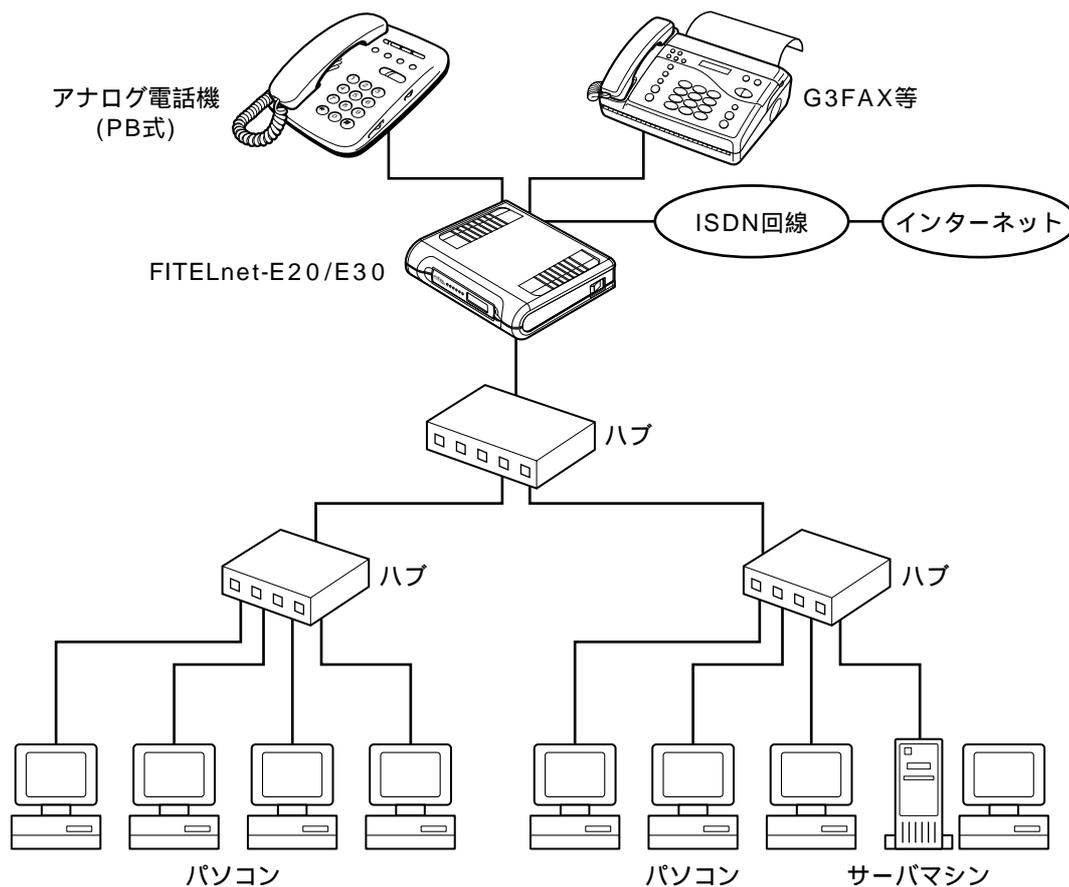
安全にお使いいただくために必ずお読みください	2
1. はじめに	9
☆このガイドでモデルとしたシステムについて説明しています。	
1.1 ユーザ登録のお願い	11
1.2 セットを確認してください	11
1.3 各部の名称	12
1.4 停電になったときのために	15
2. 必要なものの準備	16
☆FITELnet-E20以外に必要な物や手続きについて説明しています。	
3. まず電話をチェック	17
☆ISDN回線とFITELnet-E20を接続し、電話が使えるかどうかチェックします。	
3.1 FITELnet-E20、ISDN回線、電話機を接続してみる	17
3.2 FITELnet-E20の電源を入れる	18
3.3 電話は使えますか?	18
4. そしてパソコンと接続	19
☆パソコンにイーサネットボードを装着してから、FITELnet-E20と接続します。	
4.1 パソコンとFITELnet-E20の接続	19
4.2 イーサネットボードの設定	19
5. 最後にFITELnet-E20の設定	22
☆FITELnet-E20のルータ機能を設定します。	
5.1 設定の概略	22
5.2 FITELnet-E20とパソコンを10BASE-Tケーブルで接続	23
5.3 Webブラウザの準備	23
5.4 基本項目の設定	24
6. インターネットに接続おめでとう	32
☆インターネットに接続してみます。	
6.1 ホームページをしてみる	32
6.2 pingを使う	33
7. システム拡張のヒント	34
☆システム拡張の例を紹介しています。	
7.1 複数のパソコンを接続	34
7.2 モバイルパソコンでリモートアクセス	35
7.3 アナログポートを使いこなす	36
8. ご参考に	41
☆故障かな?と思ったときの確認方法などをご参考として説明しています。	
8.1 故障かな?と思ったら	41
8.2 仕様一覧	42
8.3 保守サービスのご案内	43
8.4 保証規定	46
ユーザ登録用FAX用紙	47

著作権及び商標について

- Windows® は、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。
- Windows® 98の正式名称はMicrosoft® Windows® 98 Operating Systemです。
- Microsoft Internet Explorer は、米国Microsoft Corporationの製品です。
- その他、本書に記載されている製品名、会社名は各社の商標または登録商標です。
- 本書に、他社製品の記載がある場合、これは参考を目的にしたものであり、記載製品の使用を強制するものではありません。
- 本文中では、TMおよび® マークは表示していません。

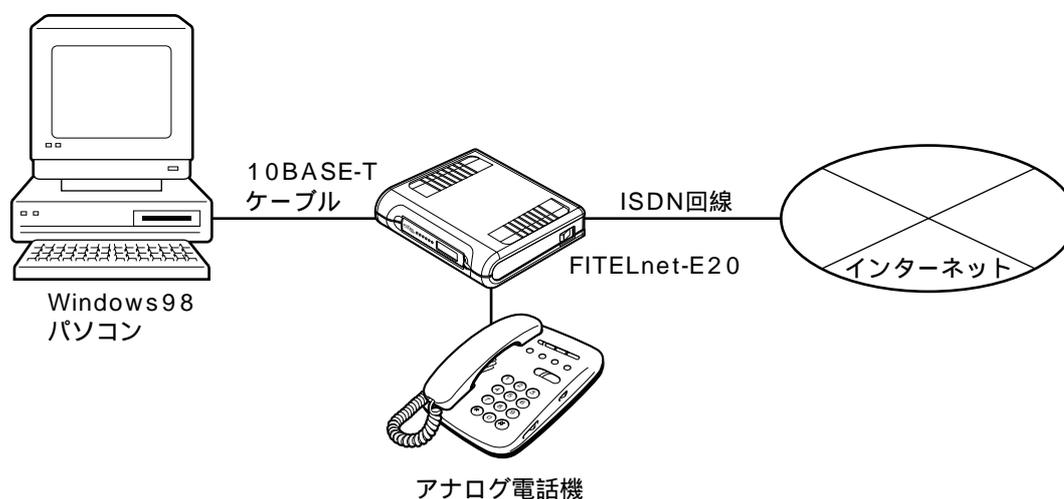
1. はじめに

ISDN / 専用線対応アクセスルータFITELnet-E20/E30は、アナログ電話機能とLANを組み合わせ、事業所のイントラネットの構築からSOHO (Small Office/Home Office) まで幅広く利用できる高機能ルータです。



このガイドでは、ルータを使った最小限のシステムをモデルとして、インターネットにつなげるまでを解説しています。モデルとしてとりあげた最小限のシステムは次のようなものです。

- 電話を1台使う
- デスクトップパソコンを使う
- パソコンのOSはWindows98
- ISDNを使ったダイヤルアップ端末型接続
- FITElnet-E20を使う
- 1台のパソコンとFITElnet-E20を接続(ハブは使わない)
- 本装置のDSUを使用する



本ガイドでは、このシステムを稼働させるまでを説明しています。お客様それぞれの利用方法に合わせたシステムの拡張については、取扱説明書を参照してください。

FITElnet-E30については必要に応じて脚注で扱っています。

1.1 ユーザ登録のお願い

本装置のご使用の際には、まず「ユーザ登録」を行ってください。
ユーザ登録をいただくと、以下のサポートを受けることができます。

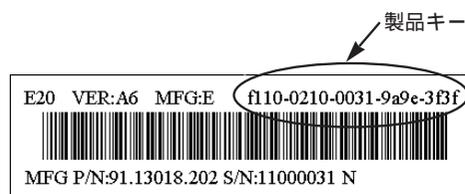
- 本装置のバージョンアップのご連絡
- 古河電工ネットワーク機器 新製品リリース情報のご連絡

ユーザ登録方法

ユーザ登録は、ホームページからのオンライン登録もしくはFAXで行います。

なお、登録に必要な「製品キー」は装置裏面に表示されておりますのでご確認ください。

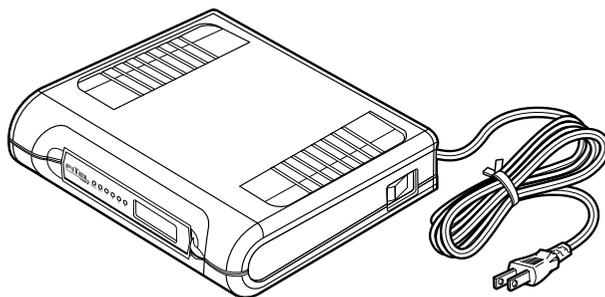
- オンライン登録
以下の登録画面に仕上がってください。
<http://www.furukawa.co.jp/fitelnet/e/sup.html>
- FAX
本書47ページをコピーして必要事項を記載し、FAXでお送りください。



装置裏面のラベル

1.2 セットを確認してください

本体



FITELnet-E20/E30

付属品

[FITELnet-E20/E30]

電話機コード (1本: 約3m)

10BASE-Tケーブル

シリアルケーブル (RS-232Cクロス)

FITELnet アナログ機能操作早見表

クイックスタートガイド (本書)

CD-ROM

• 取扱説明書

• ATコマンドをお使いのときに

• クイックスタートガイド (本書)

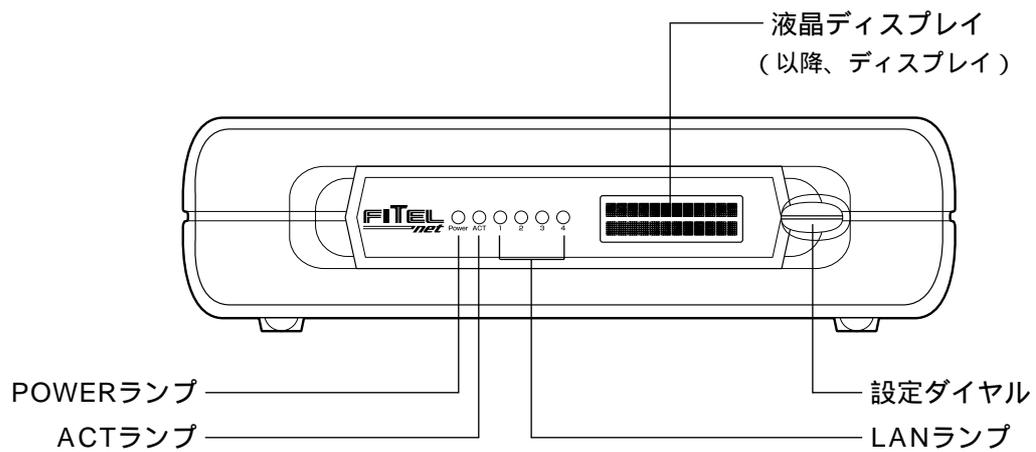
• FITELnet アナログ機能操作早見表

• モデム定義ファイル

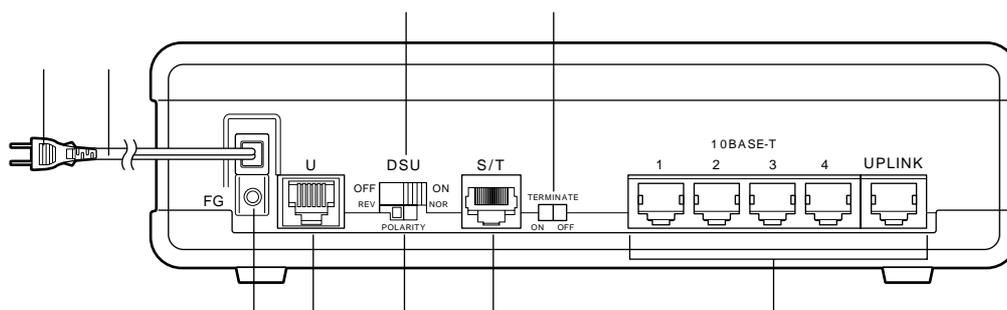
セットに不足があった場合、またクイックスタートガイドに乱丁・落丁があった場合などは、弊社窓口等またはお買い求めになった販売店へご連絡ください。

1.3 各部の名称

前面



背面



電源プラグ

電源コード

FG端子

アースを接続します。

LINE Uポート

ISDN回線に接続します。

DSUスイッチ

本装置のDSUを使用する場合は「ON」、本装置のDSUを使用せずに、他のISDN機器のDSUを使用する場合は「OFF」を選択します。

極性設定スイッチ

DSUの極性を設定します。

デジタル通信機器ポート(S/T点)

デジタル通信機器(デジタル電話機、G4-FAX等)を接続します。

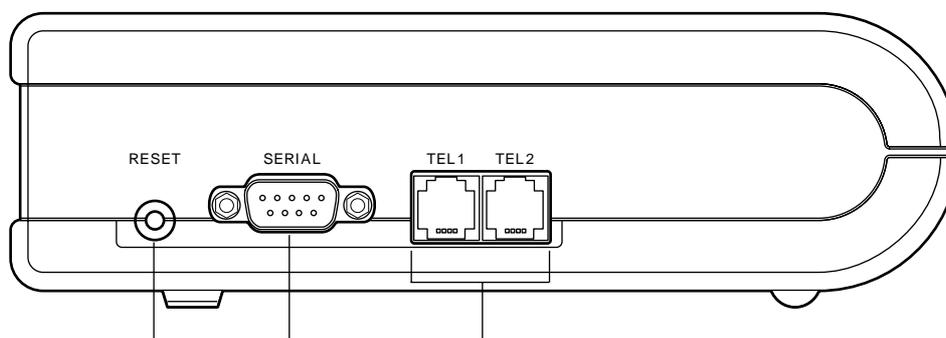
S/T点終端スイッチ

終端抵抗のあり/なしを設定します。

10BASE-Tポート

10BASE-Tケーブルで、HUBまたは端末と接続します。HUBと接続する場合は、“UPLINK”と書かれたポートに接続してください。この場合、4番ポートは使用できなくなります。

左側面



リセットスイッチ

本装置をリセットします。リセットスイッチは、先端のとがったもので押してください。

シリアルポート

本装置の設定情報の設定を行う場合に、パソコンなどの端末を接続します。

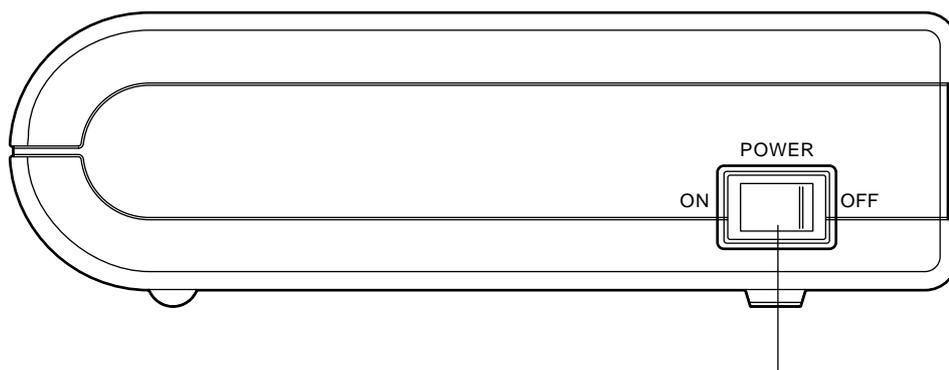
FITELnet-E20では簡易TA機能をご利用になれます。

FITELnet-E30ではモデムを接続し、アナログ回線を利用したルーティングもできます。

アナログ通信機器ジャック

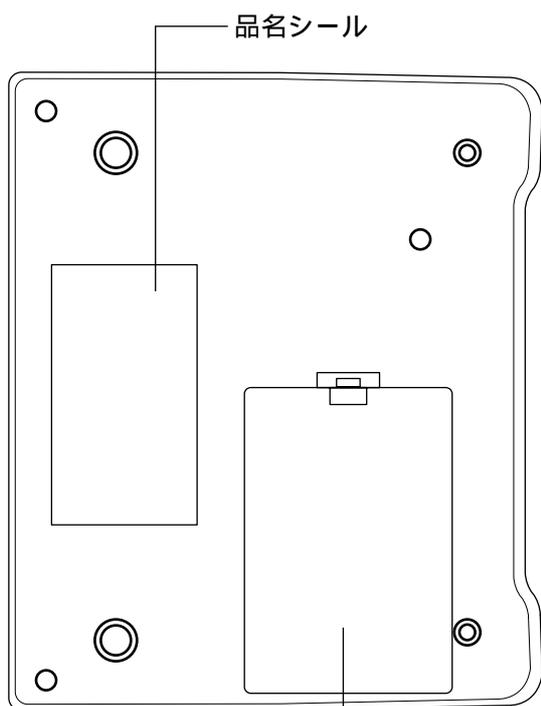
アナログ通信機器を接続します。

右側面

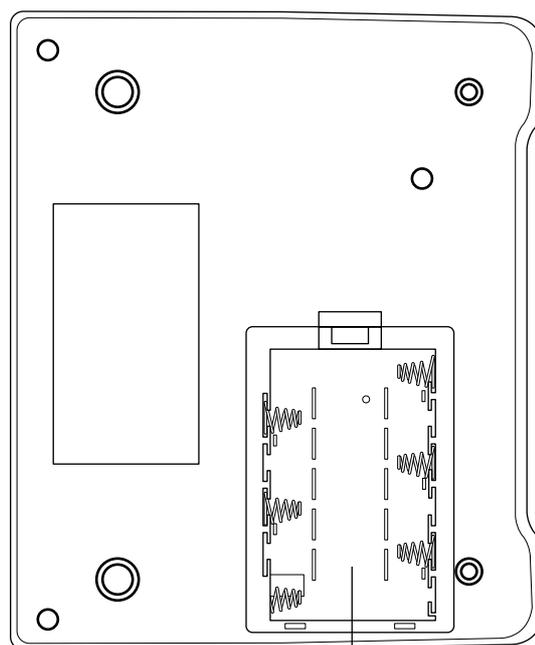


電源スイッチ
装置の電源をON / OFFにします。

裏面



乾電池カバー

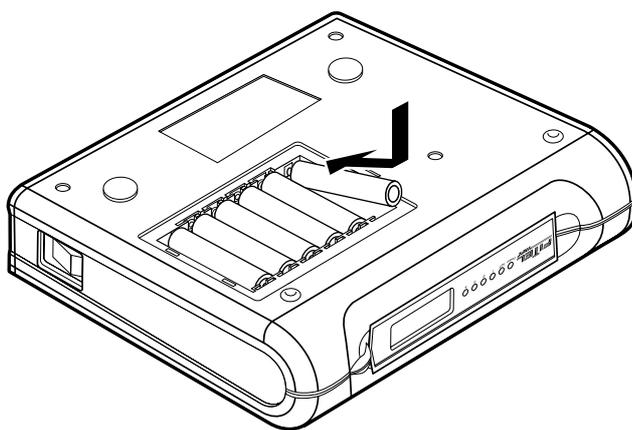


乾電池ホルダ

1.4 停電になったときのために

不意の停電の際でもTEL1ポートに接続した電話機での通話ができます。TEL2ポートおよびデータポートに接続した機器では通信できません。

- 1 乾電池カバーを開けて、乾電池ホルダに単3アルカリ乾電池を6本入れます。乾電池を入れるときは、プラス・マイナスの向きを確かめて入れてください。乾電池はお客様で、ご用意ください。



- 2 乾電池カバーを取り付けます。

お願い

本装置は、停電時にも電話による通話を確保する目的で、アルカリ乾電池によるバックアップ機能を持っています。しかし、バックアップ用にアルカリ乾電池を入れたままで、長時間ご使用になった場合、使用環境や電池自体の不良などにより液漏れを起こすことがあります。通常のご使用時は電池を外し、停電時のみ電池を装着されることをお勧めします。なお、アルカリ乾電池以外は絶対に使用しないでください。

お知らせ

停電になった場合、本装置は1度リセットし、乾電池により動作します。
新品のアルカリ乾電池での待ち受け時間の目安を以下に示します。(電池メーカーにより多少のずれはあります。)

通話なし	通話
約6.0時間	約3.5時間

停電中は以下の機能は動作しません。

- 内線通話 • ルーティング機能
- 内線転送 • コマンド入力
- 追加呼出

パソコンの背面のコンセント等から本装置の電源をとっている場合に、パソコンの電源を切ると、停電時の動作と同じになる場合があります。電池が消耗します。電源はパソコンの背面以外のコンセントからとることをお勧めします。

停電時に電池がなくなると、本装置のTEL1ポートも動作しなくなります。

停電中に電池が少なくなると、本装置のディスプレイに「バッテリー ロー」と表示されます。

2. 必要なものの準備

アナログ電話機の利用およびインターネットの利用には、FITELnet-E20およびその付属品とパソコン以外に、次に示す「物」と「手続き」が必要となるので確認してください。

必要な物

アナログ電話機	プッシュ式アナログ電話機。電話機に付属されている、モジュラジャックに差し込むためのケーブルも使用します。
イーサネットボード	FITELnet-E20とパソコンを結ぶためのネットワークボード。10BASE-T規格のもの。パソコンに装着します。
Windows98システムディスク	イーサネットボードの設定に必要な場合があります。

必要な手続き

ISDN回線申し込み	ISDN回線の申込書はNTTにあります。工事費用は依頼する作業内容により異なりますので、NTTにご相談ください ¹ 。
プロバイダ申し込み	ISDNをサポートしているインターネットサービスプロバイダへの加入手続き。

¹ 以下の申し込みはしておいてください（無料）。

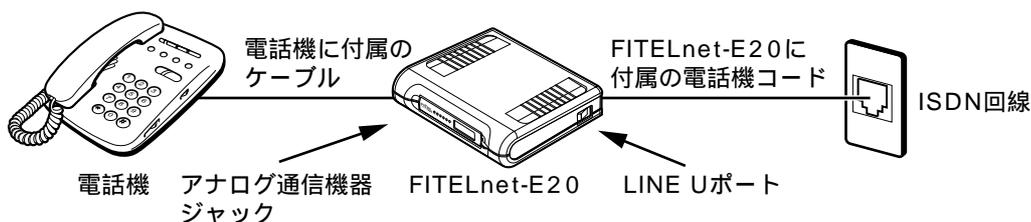
- 発信者番号通知は呼毎通知許可

3. まず電話をチェック

☆この章の目標☆

FITELnet-E20、ISDN回線、電話機を接続し、電話機が正常に使えるかどうかを確認します。

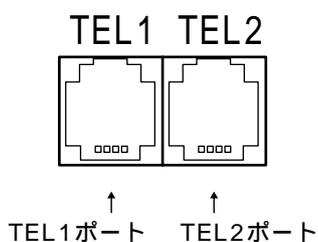
3.1 FITELnet-E20、ISDN回線、電話機を接続してみる



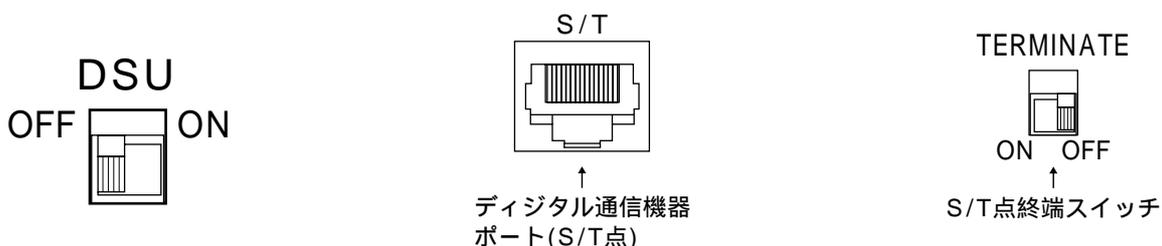
- 1 本装置のDSUを使用する場合は、DSUスイッチを「ON」にして、室内の壁に付いているISDNのモジュラジャックと、FITELnet-E20を、付属の電話機コードで接続します。電話機コードの片側を壁のモジュラジャックに差し込み、もう片側をFITELnet-E20のLINE Uポートに差し込みます。



- 2 FITELnet-E20と電話機を、電話機に付属のケーブルで接続します。ケーブルの片側をFITELnet-E20のTEL1ポートに差し込み、もう片側を電話機に差し込みます。

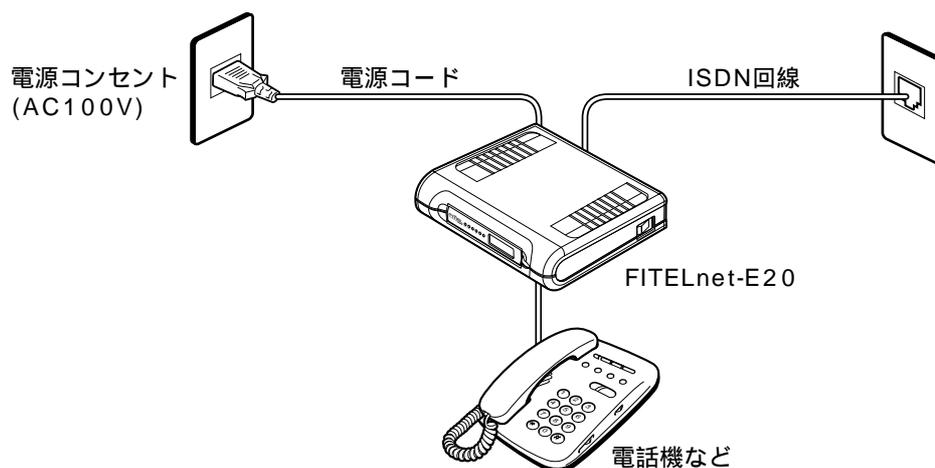


本装置のDSUを使用せず、他のDSUを使用する場合は、DSUスイッチを「OFF」にして、デジタル通信機器ポート（S/T点）と、他のDSUを接続します。S/T点終端スイッチは、「ON」「OFF」のいずれでも使用可能です。



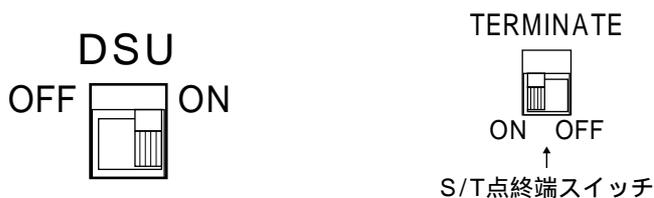
3.2 FITEInet-E20の電源を入れる

各機器の接続が終わったら、FITEInet-E20の電源コードを電源コンセント（AC100V）に差し込みます。次にFITEInet-E20の側面にあるPOWERスイッチをONにします。

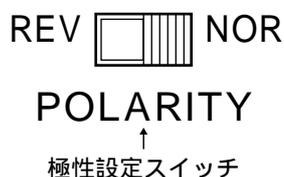


3.3 電話は使えますか？

アナログ機能の動作確認のため、天気予報（177）などに電話をかけてみます。うまくかけられたらISDN回線とFITEInet-E20は正しく接続できています。うまくいかない場合は、FITEInet-E20の電源を切り、電源コードを抜いてから、DSUスイッチとS/T点終端スイッチがONになっているか確認し、3.2からもう一度試してみてください。



以上を確認してもうまくいかない場合は極性設定スイッチを反対にしてみてください。



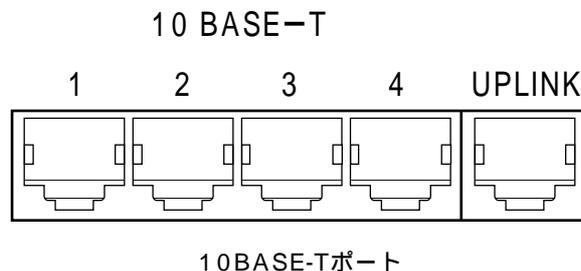
4. そしてパソコンと接続

☆この章の目標☆

パソコンとFITELnet-E20を接続します。

4.1 パソコンとFITELnet-E20の接続

イーサネットボードの設定が終わったら、イーサネットボードとFITELnet-E20を10BASE-Tケーブルで接続します。FITELnet-E20側は10BASE-Tと書いてあるところがイーサネットボードなので、ここに10BASE-Tケーブルを差し込みます。“UPLINK”と書かれたポートはHUBと接続するためのポートですので、パソコンとは接続しないでください。



4.2 イーサネットボードの設定

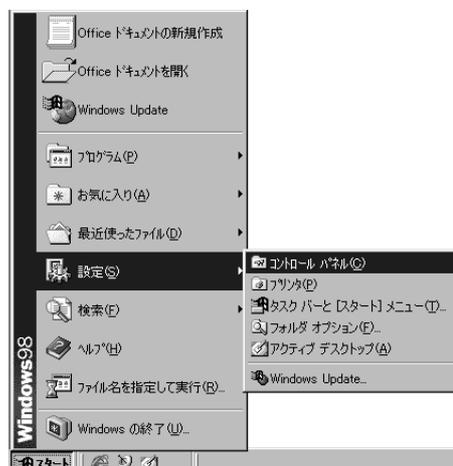
次の2つがイーサネットボードの大きな設定手順です。

- イーサネットボードをパソコンに装着する
- Windows98の機能を使って、TCP/IPなどを設定する

購入したイーサネットボードの説明書に従って、イーサネットボードをインストールします。FITELnet-E20のDHCPサーバ機能により、パソコンのIPアドレス、デフォルトゲートウェイ、DNSのIPアドレスなどが自動的に設定されます。TCP/IPの設定では、Windows98の説明書や市販の解説書も参考にしてください。

Windows98でDHCPクライアントを使用するための設定方法は次の通りです。

1 [スタート] から [設定] を経て、[コントロールパネル] を選択します。



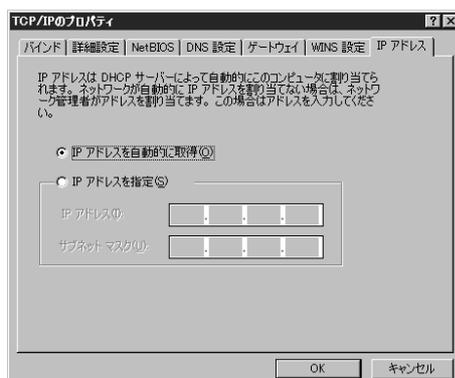
2 「コントロールパネル」内の [ネットワーク] をダブルクリックします。



3 「ネットワークの設定」内の [TCP/IP] をダブルクリックします。

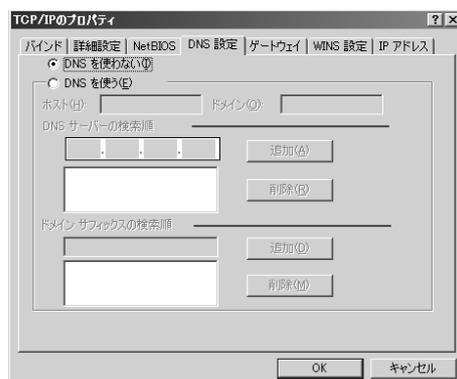


4 [IPアドレス] を選択します。
パソコンのIPホストアドレスを設定します。
[IPアドレスを自動的に取得] を選択します。

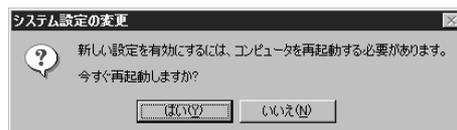


5 [DNS設定] を選択します。

[DNSを使わない] を選択します。設定後は [OK] をクリックし、「ネットワーク」を終了します。



6 「システム設定の変更」ダイアログで [はい] をクリックしてパソコンを立ち上げ直します。



設定内容に変更がなかった場合でも、IPアドレスを取得するためにパソコンを再起動してください。

また、パソコンを起動する際は、パソコンとFITELnet-E20を10BASE-Tケーブルで接続しておいてください。

5. 最後にFITELnet-E20の設定

☆この章の目標☆

FITELnet-E20のルータ機能の設定を行います。

5.1 設定の概略

Webブラウザで設定します²。

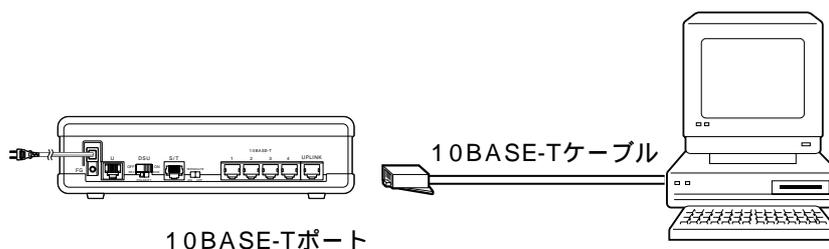
設定の概略は次のようになります。

- 1** パソコンとFITELnet-E20を10BASE-Tケーブルで接続します。
- 2** Webブラウザを準備します。
- 3** Webブラウザを使って設定情報を作成します。
- 4** 設定情報をFITELnet-E20に送信します。送信やりセットもWebブラウザでできます。

² コマンドを使ってもルータ機能が設定できます。

5.2 FITElnet-E20とパソコンを10BASE-Tケーブルで接続

FITElnet-E20の10BASE-Tポートとパソコンの10BASE-Tポートを10BASE-Tケーブルで接続します。
“ UPLINK ” と書かれたポートはHUBと接続するためのポートですので、パソコンとは接続しないでください。



5.3 Webブラウザの準備

FITElnet-E20の設定にはWebブラウザを使用します。Netscape NavigatorやInternet ExplorerのようなWebブラウザを用意してください。設定に使用するパソコンにWebブラウザがインストールされていない場合は、Webブラウザ配布用のCD-ROMなどを入手して、Webブラウザをインストールしてください。

5.4 基本項目の設定

設定ユーティリティを使って通信に必要ないろいろな設定をする前に、設定に使うデータを確認してください。設定に必要なデータは次の項目で、プロバイダから通知されます。

項目	例
プロバイダのアクセスポイントの電話番号	03-1234-XXXX
接続アカウント	abc012
接続パスワード	xxxxyyzzz
DNSのアドレス	プライマリ 158.202.XXX.XXY/セカンダリ 158.202.XXX.XXZ

1 設定の開始

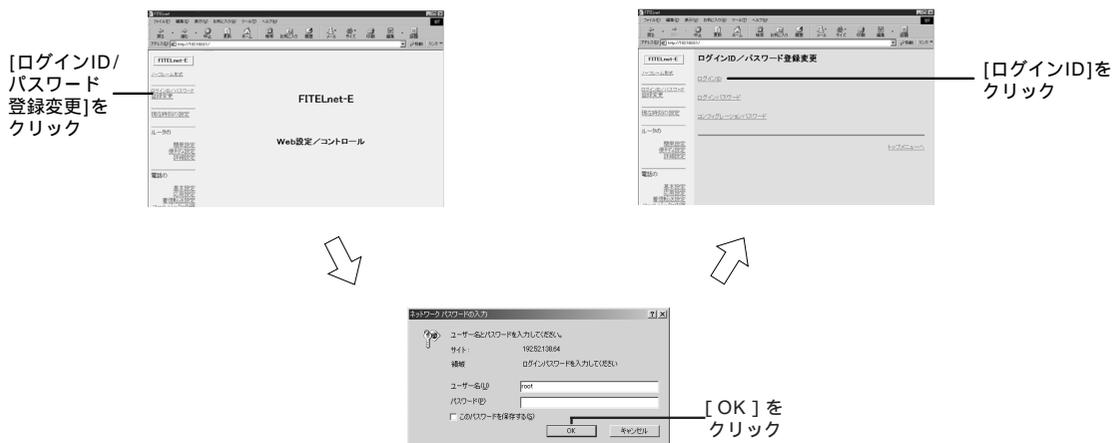
Webブラウザを起動し、URLに「http://192.168.0.1」と入力します。



2 ログインID登録変更画面の表示

はじめてFITELnet-E20を使用するときには、ログインID、ログインパスワード、コンフィグレーションパスワードの設定が必要です。

画面左側の目次の中から、[ログインID / パスワード登録変更] をクリックします。ユーザ名に “ root ” と入力し、パスワードは空欄のまま [OK] をクリックします。画面右側に [ログインID / パスワード登録変更] が表示されます。その中から [ログインID] をクリックします。



3 ログインIDの設定

ログインIDを設定します。

以降、Webから設定を行う、ファームウェアのアップデートを行う等で、ログインIDの入力がある場合は、ここで設定したIDを使用します。ログインIDは、忘れないようにしてください。

ログインIDを設定しない場合は、“ root ” がログインIDとなります。



ログインIDの登録変更

ログイン ID:

4 設定内容の送信

設定が終わったら、[送信]をクリックします。設定内容がFITELnet-E20に送信され、確認画面が表示されます。



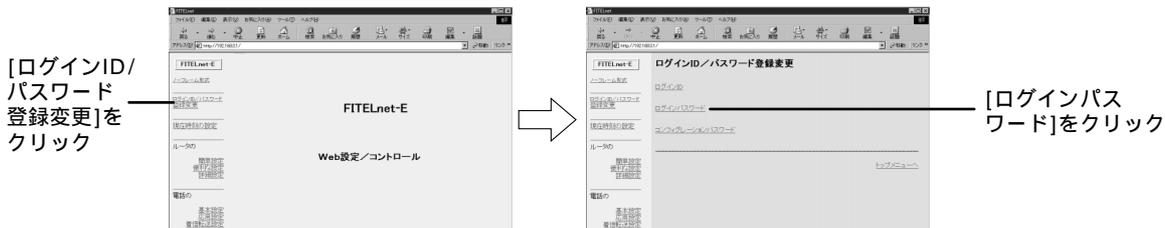
ログインIDの登録変更

ログイン ID:

[送信]をクリック

5 ログインパスワード登録変更画面の表示

画面左側の目次の中から、[ログインID / パスワード登録変更] をクリックします。画面右側に [ログインID / パスワード登録変更] が表示されます。その中から [ログインパスワード] をクリックします。



6 ログインパスワードの設定

[新パスワード] にログインパスワードを設定します。確認のため新ログインパスワードをもう一度入力します。はじめてログインパスワードを設定するときは、旧パスワードの入力は要りません。

ログインパスワードの登録変更

旧パスワード:

新パスワード:

確認の為、新パスワードを再度入力して下さい:

7 設定内容の送信

設定が終わったら、[送信]をクリックします。設定内容がFITELnet-E20に送信され、確認画面が表示されます。

ログインパスワードの登録変更

旧パスワード:

新パスワード:

確認の為、新パスワードを再度入力して下さい:

クリア 送信

[送信]をクリック

8 コンフィグレーションパスワード登録変更画面の表示

画面左側の目次の中から、[ログインID / パスワード登録変更]をクリックします。画面右側に[ログインID / パスワード登録変更]が表示されます。その中から[コンフィグレーションパスワード]をクリックします。



9 コンフィグレーションパスワードの設定

[新パスワード] にコンフィグレーションパスワードを設定します。確認のため新コンフィグレーションパスワードをもう一度入力します。はじめてコンフィグレーションパスワードを設定するときは、旧パスワードの入力は要りません。

コンフィグレーションパスワードの登録変更

旧パスワード:

新パスワード:

確認の為、新パスワードを再度入力して下さい:

10 設定内容の送信

設定が終わったら、[送信] をクリックします。設定内容がFITELnet-E20に送信され、確認画面が表示されます。

コンフィグレーションパスワードの登録変更

旧パスワード:

新パスワード:

確認の為、新パスワードを再度入力して下さい:

[送信] を
クリック

11 現在時刻の設定

画面左側の目次から [現在時刻の設定] をクリックします。
画面右側に現在時刻の設定が表示されますので、現在の年月日 / 時刻を設定します。



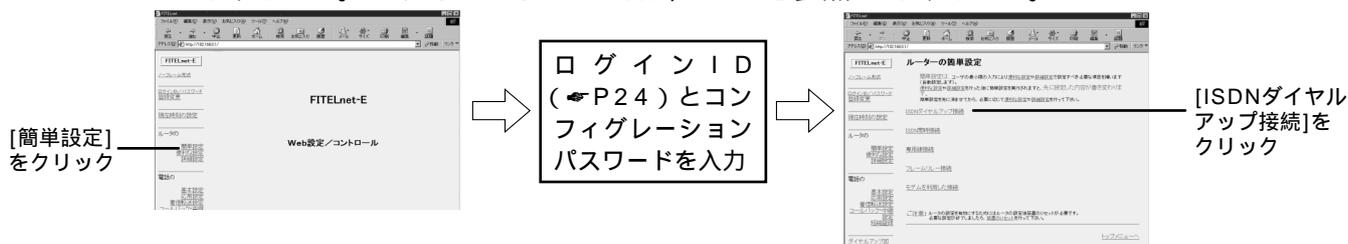
12 設定内容の送信

設定が終わったら、[送信] をクリックします。設定内容がFITELnet-E20に送信され、確認画面が表示されます。



13 ISDNダイヤルアップ接続画面の表示

画面左側の目次の中から、ルータの [簡単設定] をクリックします。画面右側に [ルータの簡単設定] が表示されます。その中から [ISDNダイヤルアップ接続] をクリックします。操作中にログインIDとパスワードを入力するダイアログが表示されたら、ログインIDとコンフィグレーションパスワードを入力してください。ログインIDについては、P24を参照してください。



14 ISDN回線の設定

この画面ではプロバイダから提供された認証アカウントやパスワードを設定します。

設定項目	設定内容
アクセスポイント	プロバイダから提供されたアクセスポイントの電話番号を市外局番から入力します。“(”、“ ”、“ - ”は不要です。
認証 (接続) ID	プロバイダから提供された認証ID (アカウント)。
認証 (接続) パスワード	プロバイダから提供されたパスワード。
プライマリDNSアドレス	158.202.XXX.XXY
セカンダリDNSアドレス	158.202.XXX.XXZ

ISDNダイヤルアップ接続の登録変更

アクセスポイント:

認証 (接続) ID: (最大32文字まで)

認証 (接続) パスワード: (最大32文字まで)

プライマリDNSアドレス: . . .

セカンダリDNSアドレス: . . .

15 設定内容の送信

設定が終わったら、[送信]をクリックします。設定内容がFITELnet-E20に送信され、確認画面が表示されます。[OK]をクリックします。

ISDNダイヤルアップ接続の登録変更

アクセスポイント: [031234xxxx]

認証 (接続) ID: [abc012] (最大32文字まで)

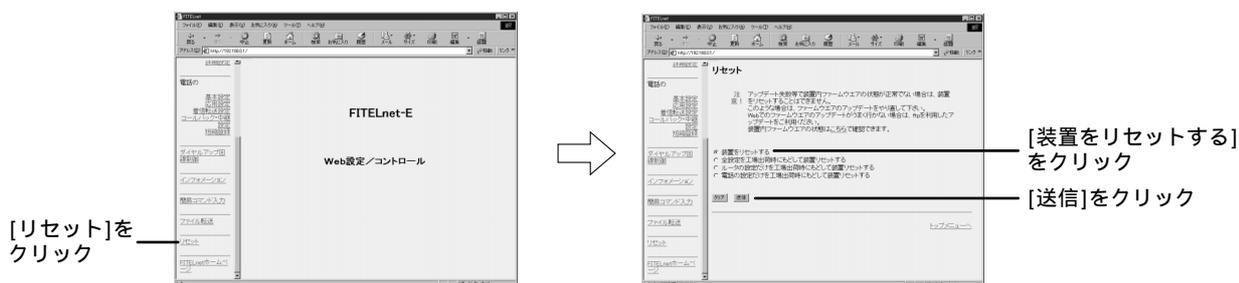
認証 (接続) パスワード: [xxxxxxx222] (最大32文字まで)

プライマリDNSアドレス: [158] [202] [xxx] [xy]

セカンダリDNSアドレス: [158] [202] [xxx] [xyz]

16 装置のリセット

送信した設定を有効にするためにFITELnet-E20をリセットします。画面左側の目次の中から、[リセット]をクリックします。画面右側に[リセット]が表示されます。[装置をリセットする]をクリックし、次に[送信]をクリックします。



FITELnet-E20がリセットされ、その後再起動します。FITELnet-E20が再起動したら、IPアドレスを取得するためにパソコンを再起動してください。

6. インターネットに接続おめでとう

☆この章の目標☆

インターネット接続ができるかどうか試してみます。

6.1 ホームページをしてみる

ここまで設定したら、インターネットに接続できます。さっそく試してください。試験としてFITELnet-Eホームページを見てください。

URLは、<http://www.furukawa.co.jp/fitelnet/e>です。WWWブラウザでURLを指定してみると、FITELnet-E20の液晶パネルに“PPP”の文字が表示され、プロバイダとの接続を開始します。接続ができると、FITELnet-Eホームページが表示されます。

6.2 pingを使う

pingを使ってインターネットへの接続を確認することもできます。pingはWindows98に標準で付いているソフトで、パケット（データの集まり）がどれくらいの速度で相手に到達し、返信されるかを調べる機能があります。これを使い返信があるかどうかを確認し、返信があればインターネットには正常に接続できています。

pingの使い方は次の通りです。

1 [スタート] [プログラム] [MS-DOS プロンプト]と選び、「MS-DOS プロンプト」ウィンドウを表示させます。

2 “ping” コマンドに続いて、契約しているプロバイダから通知されたDNSのIPアドレスを入力し、Enterを押します。

（例）プロバイダから通知されたDNSのIPアドレスが158.202.XXX.XX1のとき

```
C:¥WINDOWS>ping 158.202.XXX.XX1
```

3 次のような返信がくれば正常に接続できています（数値は例）。

```
Pinging 158.202.XXX.XX1 with 32 bytes of data:  
  
Reply form 158.202.XXX.XX1: bytes=32 time<10ms TTL=32  
Reply form 158.202.XXX.XX1: bytes=32 time=1ms TTL=32  
Reply form 158.202.XXX.XX1: bytes=32 time<10ms TTL=32  
Reply form 158.202.XXX.XX1: bytes=32 time<10ms TTL=32
```

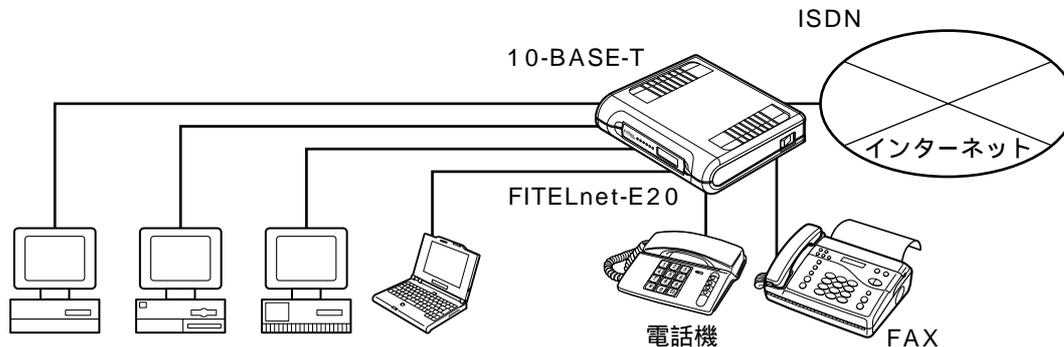
pingの返信があれば、インターネットは正常に使えます。

7. システム拡張のヒント

☆この章の目標☆

これまで、FITELnet-E20を使い、自宅やオフィスでの一番シンプルなネットワークを作り上げました。この章では、システム拡張のいくつかの例を紹介しているので、参考にしてください。個々の設定方法については、説明書やFITELnetホームページを参考にしてください。

7.1 複数のパソコンを接続



このガイドで説明した構成をベースにして、複数台のパソコンをFITELnet-E20に接続するには、パソコン本体以外に次のようなハードウェアの追加が必要です。

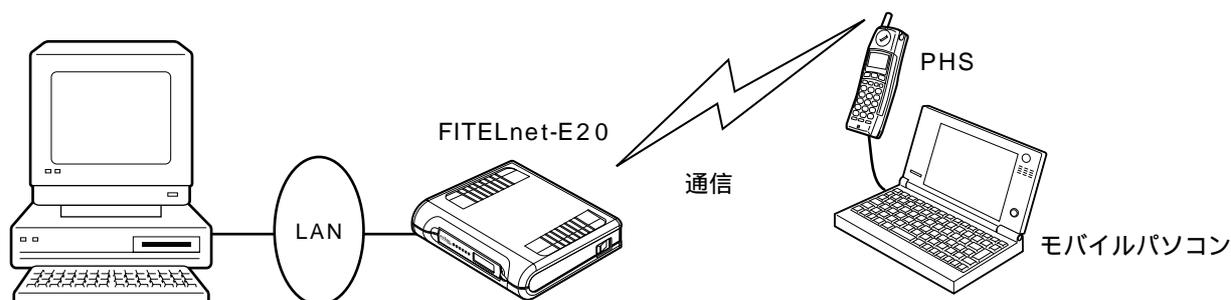
イーサネットボード	デスクトップの場合は、4.1で取り付けたイーサネットボードと同じイーサネットボードを購入した方が、設定に慣れているので便利です。
10BASE-Tケーブル	いままで使っているものと同じケーブルで構いません。
ハブ	複数台のパソコンをFITELnet-E20に接続するときの中心となる機器。つなぐパソコンの台数によりポート数を決めてください。 4台まではFITELnet-E20に接続することができます。

各パソコンのイーサネットの設定は、このガイドで説明したものと同じです。

FITELnet-E20にハブを接続する場合は、“UPLINK”と書かれたポートに接続してください。この場合、4番ポートは使用できません。

7.2 モバイルパソコンでリモートアクセス

外出先や出張先のホテルなど遠隔地から、FITELnet-E20を経由して自宅やオフィスのネットワークに接続でき、ファイル転送などが使えます。これをリモートアクセスといいます。外出先のISDN公衆電話、PHSなどからアクセスし、遠隔地にいても、自分の自宅やオフィスにいるのと同じ作業ができます³。FITELnet-E20は、PIAFS⁴もサポートしているので、幅広いモバイル環境に対応できます。



リモートアクセスを使うためには、FITELnet-E20とリモートアクセスに使うパソコン側の設定が必要です。FITELnet-E20では、Webブラウザの設定で、ルータの [便利な設定] から [ISDN回線接続先の登録] を選び、接続相手の名前、ISDN番号、サブアドレス、認証方法などのうち、必要な項目を設定します。リモートアクセス側には次の条件を満たすパソコンを使用してください。

接続方法	ダイヤルアップIP接続
通信経路	• PHSのPIAFS

³ FITELnet-E20では、ISDNで外部からの不正アクセスを防ぐために、PAP/CHAPによるユーザ認証、発信者番号通知による認証をサポートして、セキュリティを強化しています。

⁴ PHS Internet Access Forum Standardの略。最大64Kbpsという高速なデジタル通信速度を実現しています。

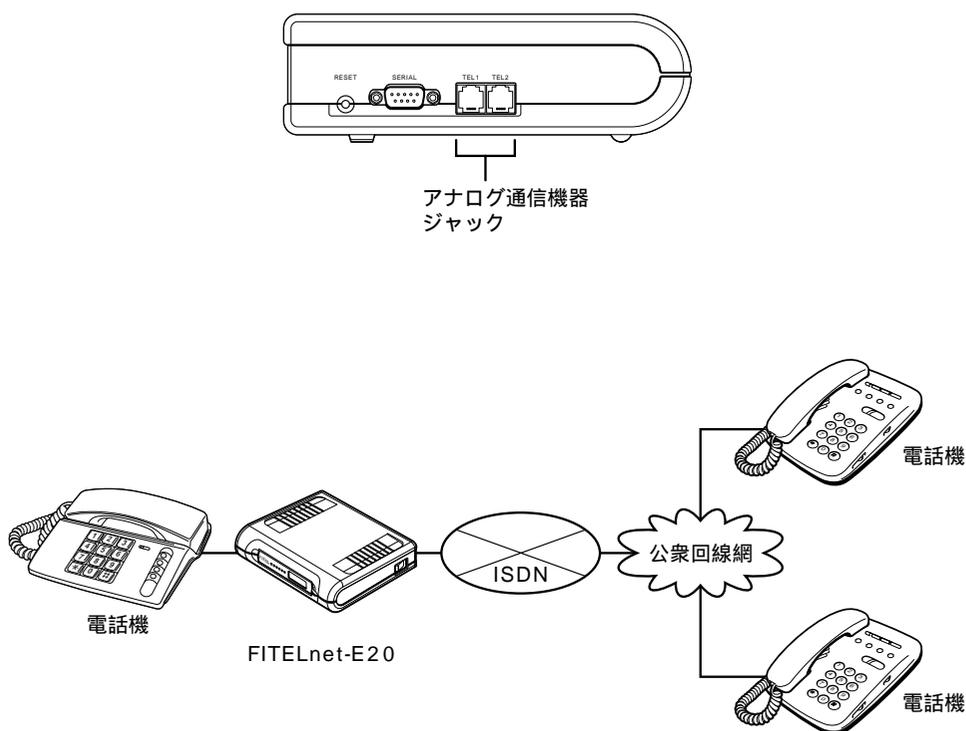
7.3 アナログポートを使いこなす

FITELnet-E20はアナログ電話機を接続する機器としても利用価値があります⁵。FITELnet-E20とアナログ電話機を組み合わせると、いままでデジタル電話機でできなかったような機能がアナログ電話機でもできるようになります。たくさんのアナログ機能があるので、アナログ機能にどのようなものがあるのか一度取扱説明書に目を通してください。きっと新しい発見があるでしょう。

ここでは、たくさんの機能のうち、コールウェイティングについて紹介します。

アナログ回線で使われているキャッチホンサービスと同等の機能がFITELnet-E20を使い実現できます。それが疑似コールウェイティング機能です。ISDNでもフレックスホンサービスをオプションで申し込めますが、FITELnet-E20ではNTTにオプションサービスを申し込まなくても似た機能が利用できます。

使い方はキャッチホンと同じです。通話中に新たな着信があると、着信音が聞こえます。ここでフックスイッチを1回押すと、新たに着信して来た相手に切り替わります。以降は、フックスイッチを押すたびに相手が切り替わります。



FITELnet-E20にはこれ以外にも役立つアナログ機能があります。

次ページより、よく使われる機能として「TEL1ポートを電話で使用（契約番号）し、TEL2ポートをi・ナンバー契約を利用してFAXで使用する」設定例を説明します。なお、アナログ機能の設定方法には、Webブラウザで設定する方法とアナログ電話機を使って設定する方法があります。

⁵ FITELnet-E20には、ISDN機器を接続できるS/Tポートがあります。ここに、デジタル電話機やG4ファクスが接続できます。

Webブラウザから設定

設定の準備方法については、5章を参照してください。

(例) i・ナンバーの番号が012-345-xxxxのとき

1 電話の基本設定を設定します。

画面左側の目次の中から [電話の基本設定] をクリックします。

画面右側に電話の基本設定が表示されますので、以下の表の内容を設定します。

設定項目	設定内容
共通	i・ナンバー # 1 012345xxxx i・ナンバーの番号を市外局番から入力します。
TEL1	着信種別 グローバルセレクト/ダイヤルイン 着信許可 グローバル着信時のみ着信する
TEL2	着信種別 グローバルセレクト/ダイヤルイン ダイヤルイン番号 着信許可 指定ダイヤルインのみ着信する 012345xxxx i・ナンバーの番号を使用し、番号を市外局番から入力します。

The screenshot shows the '電話の基本設定' (Basic Phone Settings) page. On the left is a navigation menu with '電話の基本設定' circled in red. The main content area is divided into sections for '共通' (Common), 'TEL1', and 'TEL2'. In the '共通' section, the 'i・ナンバー' field is circled in red and contains '012345xxxx'. Below it are two bullet points: '● i・ナンバー契約時に取得された追加番号を設定して下さい。' and '● i・ナンバーを利用したいVTRポートのダイヤルイン番号に、この追加番号を設定して下さい。'. In the 'TEL1' section, the '着信種別' dropdown is circled in red and set to 'グローバルセレクト/ダイヤルイン'. The '着信許可' section has '優先着信' selected. In the 'TEL2' section, the '着信種別' dropdown is circled in red and set to '指定ダイヤルインのみ着信する', and the 'ダイヤルイン番号' field is circled in red and contains '012345xxxx'. At the bottom, there are 'クリア' and '送信' buttons.

2 設定内容の送信

設定内容を確認し、正しければ [送信] をクリックします。

アナログ電話機から設定

(例) i・ナンバーの番号が012-345-xxxxのとき

1 TEL 1 ポートに電話機を接続します。

2 TEL 1 ポートの基本設定を設定します。

着信種別：着信許可

受話器を取りあげます。

③、✳、①を押します。

受話器を置きます。

グローバルセレクト/ダイヤルイン：グローバル着信時のみ着信する

受話器を取りあげます。

⑤、✳、✳、Ⓜを押します。

受話器を置きます。

3 設定をセーブします。

受話器を取りあげます。

⑨、✳、Ⓜを押します。

受話器を置きます。

4 TEL 2 ポートに電話機を接続します。

5 TEL2ポートの基本設定を設定します。

着信種別：着信許可

受話器を取りあげます。

③、✳、①を押します。

受話器を置きます。

i・ナンバー番号：i・ナンバーの番号を登録する

例<電話番号>：012345xxxx

受話器を取りあげます。

③、✳、⑧、<電話番号>、Ⓜを押します。

i・ナンバーの番号を市外局番から入力します。

受話器を置きます。

グローバルセレクト/ダイヤルイン：ダイヤルイン(i・ナンバー)番号を登録する

例<電話番号>：012345xxxx

受話器を取りあげます。

⑤、✳、✳、<電話番号>、Ⓜを押します。

ダイヤルインの番号として、i・ナンバーの番号を市外局番から入力します。

受話器を置きます。

6 設定をセーブします。

受話器を取りあげます。

⑨、✳、Ⓜを押します。

受話器を置きます。

8. ご参考に

8.1 故障かな?と思ったら

こんなとき	確認してください	参照ページ
電源ケーブルを接続してもPOWERランプがつかない	電源スイッチがONになっていますか。	—
POWERランプがついているが、装置が起動しない	液晶ディスプレイの表示を参照してください。 「Startup error」「Selftest error」「Boot error」の場合は、装置異常です。弊社サポートデスクにご連絡ください。	取扱説明書 ←P24
10BASE-Tポートに端末、HUBを接続しているのにLANのランプがつかない	ケーブルは“UPLINK”とかかれたポートに接続されていますか。 ケーブルの接続を確認してください。	—
回線のケーブルをつないでいるのにACTランプがつかない	ラインログを確認してください。 ケーブルの接続を確認してください。 設定や回線を調査してください。 DSUスイッチを逆にしてみてください。 極性設定スイッチを逆にしてみてください。	—

ラインログのみかた

lllogコマンドで、ラインログを参照することができます。

ラインログのecodeの下2桁で、回線理由コードが確認できます。回線理由コードは取扱説明書P288を参照してください。

(例) ecodeが08000210の場合

下2桁(10) 正常切断

8.2 仕様一覧

項目		FITELnet-E20	FITELnet-E30
回線インタフェース	U点	1ポート	1ポート
	U点極性切替		
	DSUスイッチ		
	S/T点	1ポート	1ポート
	S/T点終端スイッチ		
LAN	10BASE-T	4ポート(+1カスケードポート)	4ポート(+1カスケードポート)
WAN	ISDN (INS-C)		
	ISDN (INS-P Dchパケット)	-	
	専用線 (64/128kbps)		
	32kPIAFS、64kPIAFS(2.0/2.1)		
	フレームリレー (64/128kbps)	-	
	AsyncPPP	-	
アナログポート		2ポート	2ポート
装置インタフェース	シリアルポート	DTE	DTE
	液晶ディスプレイ	12文字×2行	12文字×2行
電源	電源	内蔵	内蔵
	停電時バックアップ	(単三アルカリ乾電池6本必要)	(単三アルカリ乾電池6本必要)
ISDN	接続対地	20箇所	60箇所
	I・ナンバー (3番号)		
TA機能			-
サポートプロトコル		IP	IP
ブリッジング		-	
IPルーティング プロトコル	スタティック		
	RIP		
フィルタリング		アドレス、プロトコル、ポート番号、 インタフェース	アドレス、プロトコル、ポート番号、 インタフェース
DHCPサーバ			
データ圧縮 (StackerLZS)			
ヘッダ圧縮 (VJ Compress)			
アドレス変換		NAT, NAT ^{+(plus)} , NATスタティック, NAT ^{+(plus)} スタティック	NAT, NAT ^{+(plus)} , NATスタティック, NAT ^{+(plus)} スタティック
セキュリティ	発信者番号認証		
	PAP/CHAP		
トラフィック分散	MP		
ISDN課金監視機能 1			
コールバック	無課金		
	CBCP		
冗長構成	ホットスタンバイ	-	
	Layer3監視	-	
	ルータグループ化	-	
データ別優先制御		-	
Proxy DNS			
SNMPエージェント		-	
SYSLOG通知			
RADIUS		-	
フレックスISDN対応			
設定、運用		コマンド、WEB、設定ダイヤル	コマンド、WEB、設定ダイヤル
外形寸法、重量		205(W)×178(D)×54(H)mm 約1.0kg	

1 ISDN課金監視機能

ISDNの接続時間を制限する機能です。

装置導入時は、ISDNが連続12時間接続したままの状態が続くと、装置が停止します。

8.3 保守サービスのご案内

最新情報・設定方法・トラブルのお問い合わせは、

[1] サポートデスクサービス

ご購入後のお客様の質問、トラブル等に専門のサポート員がお応えします。

FITELnet-Eシリーズの設定や操作に関するお問い合わせ、および万一傷害が発生した場合のサポートをいたします。(有償保守サービスについてはお買い求めの販売店または、P45の古河インフォネット(株)保守・販売センターにご連絡ください)。

お問い合わせ：サポートデスク

TEL.



FAX.

コール受付時間：平日(月～金)9時～12時、13時～17時

(祝祭日、年末年始(12/29～1/5) 弊社休日を除く)

[2] ホームページによる情報提供、最新ファームウェアの提供

ホームページを用意しています。インターネットに接続時は、ぜひアクセスしてみてください。メニュー画面の[ホームページ]をクリックすればすぐにアクセスできます。また、このホームページには、FTPサイトも用意してあります。最新ファームウェアをダウンロードできます。

<http://www.furukawa.co.jp/fitelnet/e/index.html>

<http://www.furukawa.co.jp/fitelnet/e/dl.html>

[3] メーリングリストによる情報提供

サポートの一環として、ユーザーの意見交換・質問のためのメーリングリストを開設しています。

ご加入は、以下へアクセスしてください。

<http://www.furukawa.co.jp/fitelnet/ml.html>

有償保守サービス

大規模システムからワークグループまでのさまざまなニーズに全国430カ所のサービス拠点から有償にてサービスを提供いたします。

- ・ 定額にて年間を通じてサービスが可能な年間保守契約
- ・ 障害の都度サービスを提供するスポット保守サービス
- ・ 設定をサポートするインストールサービス

詳しくはP44をご覧ください。

“ FITElnet ” の有償保守サービスメニュー

サービスメニュー	再納入あり			再納入なし			
	センドバック 修理	代替機 貸出	インストール サービス	代品発送	一次 切分け	オンサイト 代品交換	インストール サービス
年間保守契約							
代品発送保守	-	-	-	-	-	-	別途費用
オンサイト 交換保守	-	-	-	-	別途費用		
オンサイト 切分け保守	-	-	-	-			
スポット保守							
センドバック 保守		別途費用	別途費用	-	-	-	-
代替機貸出保守	-		別途費用	-	-	-	-
オンサイト保守	別途費用	別途費用	-	-	-	-	-
無償保証期間		-	-	-	-	-	-

各メニューのご説明

年間保守契約	1年間定額の料金で、上記表の該当サービスに付き、年間何回でもサービスをご提供いたします。製品保証期間内に限り契約可能です。以下のメニューがあります。
代品発送保守	障害発生時に障害品と同等の正常動作品を代品としてご提供するサービスです。代品の設置・設定（インストール）はお客様にてお願いします。障害品返却の費用はお客様のご負担でお願いします。
オンサイト交換保守	障害発生時に弊社サービス員が現地（オンサイト）に出動し、サービスをご提供いたします。障害品と同等の正常動作品との交換を基本とします。交換後、機器の設定（インストール）を行います。障害品の修理、再納入は別途費用がかかります。
オンサイト切分け保守	障害発生時に障害の一時切分け支援を行います。障害箇所が特定され、オンサイト交換が必要と判断された場合、現地（オンサイト）にて障害品を同等の正常動作品との交換をいたします。交換後、機器の設定（インストール）を行います。障害品の修理、再納入は別途費用がかかります。
スポット保守サービス	障害等の際、お客様のご要望の都度スポットでサービスをご提供いたします。以下のメニューがあります。
センドバック保守	障害品をセンドバック（製品返却）していただき、弊社にて修理の上ご返送するサービスです。修理品の設置・設定（インストール）はお客様にてお願いします。障害品返却の費用はお客様のご負担でお願いします。
代替機貸出保守	センドバック修理の期間中などに代替機を一時的に貸し出すサービスです。代替機返却の費用はお客様のご負担でお願いします。
オンサイト保守	障害発生時に弊社サービス員が現地（オンサイト）に出動し、サービスをご提供いたします。出動は原則として1障害あたり1回とし、障害品と同等の正常動作品との交換を基本とします。交換後、機器の設定（インストール）を行います。障害品の修理、再納入は別途費用がかかります。
オンサイト再納入オプション	障害品を修理後、オンサイトで再納入、設定（インストール）するサービスです。センドバック修理/交換サービスやオンサイト障害品交換サービスと組み合わせてご利用いただくものです。
インストールサービス	製品の設定（インストール）をサポートするサービスです。事前に設定情報を弊社にいただきます。
オンサイトインストール	機器の設定（インストール）を現地（オンサイト）にて実施するサービスです。
プリインストール	あらかじめ機器の設定（インストール）を弊社出荷前に実施するサービスです。製品の設置はお客様にてお願いします。

有償保守サービスのお問い合わせ先

有償保守サービスのお問い合わせはお買い求めの販売店もしくは下記までお願い申し上げます。

〒254-0016

神奈川県平塚市東八幡 5-1-9

古河電気工業(株)平塚事業所 ネットワークセンター内

古河インフォネット株式会社

保守・販売センター

TEL. 0463-24-6511 FAX. 0463-24-8584

コール受付時間：平日(月～金)9時～12時、13時～17時

(祝祭日、年末年始(12/29～1/5)、弊社休日を除く)

古河インフォネット株式会社では、下記の部品も販売しております。

- | | |
|-----------------------|--------|
| ・最新ファームウェア(フロッピーディスク) | 3,000円 |
| ・CD-ROM+クイックスタートガイド | 2,500円 |

送料及び消費税は別途に承ります。

有償保守サービス並びに部品販売のお支払い方法

下記の方法の中から選択できます。

- ・宅急便による代金引き換え配達でのお支払い。
- ・VISAまたはMasterクレジットカードでのお支払い。
電話またはFAXで、お客さまのクレジット番号のお申し出によりお取り扱いします。
- ・銀行口座へのお振り込み
東京三菱銀行に口座を開設しています。
詳しくは古河インフォネット株式会社保守・販売センターまで、お問い合わせください。

FITELnet-E障害品の送付先

万一、故障した場合は、下記の住所に送付してください。

〒254-0016

神奈川県平塚市東八幡 5-1-9

古河電気工業(株)平塚事業所 ネットワークセンター内

古河インフォネット株式会社

保守・販売センター

TEL. 0463-24-6511 FAX. 0463-24-8584

コール受付時間：平日(月～金)9時～12時、13時～17時

(祝祭日、年末年始(12/29～1/5)、弊社休日を除く)

8.4 保証規定

FITELnetは、古河電気工業（株）が厳重な品質管理の下で製造、検査を経てお客様へお届けしたものです。この保証規定は以下に明示した条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証規定によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。本規定は日本国内においてのみ有効です。

正常なご使用状態のもとで保証期間内に万一故障した場合は、この保証規定に従い故障の修理をさせていただきます。持ち込み修理とさせていただきますので、製品を下記までご送付もしくはご持参ください。

（送付先） * 製品送付の運送費は、お客様のご負担とさせていただきます。

〒254-0016

神奈川県平塚市東八幡 5-1-9

古河電気工業（株）平塚事業所 ネットワークセンター内

古河インフォネット株式会社

保守・販売センター

TEL. 0463-24-6511 FAX. 0463-24-8584

保証期間はユーザ登録日より1年間とします。

ユーザ登録をされていない場合には保証期間は製造日より1年間となります。

次のような場合には、有償修理となります。

「有償修理となる場合」

- ・保証期間を過ぎている場合
- ・本製品の説明書に記載された使用方法および、注意事項に反するお取り扱いによって生じた故障・損傷の場合
- ・お買い求め後の輸送や振動、落下、衝撃などお取り扱いが不適当なため生じた故障・損傷の場合
- ・火災、地震、水害、落雷、その他の天変地異、公害や異常電圧などにより生じた故障・損傷の場合
- ・接続している他の機器、その他外部要因に起因して生じた故障・損傷の場合
- ・改造および、弊社以外で調整、部品交換などをされたことにより生じた故障・損傷の場合
- ・消耗品の交換

本製品の故障、損傷、またはその使用中に生じた直接または間接の損害につきましては、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

ご使用になる前にユーザ登録を行ってください。このFAX用紙に必要な事項を記入の上、ユーザサポート係までご送付ください。

ユーザ登録はFITELnet-Eのホームページからもご利用いただけます。

<http://www.furukawa.co.jp/fitelnet/e/sup.html>

その場合は、FAXをお送りいただく必要はありません。

太枠内を記入してください。(の項目は、必ず記入してください。)

製品名		
製品キー		
購入年月日		年 月 日
お名前	ふりがな	
	漢字	
会社(法人)名		
所属部署		
郵便番号		〒 -
ご住所		
ご連絡先TEL		
ご連絡先FAX		
E-mail		
ご購入先	社名/店名	
	TEL	

アンケートにお答えください：

ご購入のきっかけは？ (1つお選びください)	a. 雑誌広告を見て b. 雑誌記事を見て c. カタログ・Webを見て d. ご購入先に薦められて e. その他 ()
ご購入の決め手は？ (複数回答可)	a. 機能が良かった b. 価格が安かった c. メーカーの信頼性 d. プロバイダーの推奨品だから e. メーカーのサポート体制が充実している f. 雑誌や店頭での評判が良かった g. その他 ()
ご使用場所は？ (1つお選びください)	a. 会社 c. 会社兼自宅 b. 自宅
ご使用環境は？ (複数回答可)	a. ISDN d. フレームリレー b. フレッツISDN e. モデム接続 c. 専用線 f. その他：
接続先は？(複数回答可)	a. 社内ネットワーク b. インターネットプロバイダー (プロバイダー名称：) c. IP-VPNサービス(サービス名：) d. その他 ()
今後、更にネットワーク機器のご購入の計画は？	a. ある(機器カテゴリ名：) b. ない

- 本書は改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権その他の権利の侵害について、弊社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。
- 落丁・乱丁本はお取り替えいたします。